

## 平成27年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年6月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 ゼネラルパッカー株式会社  
 コード番号 6267 URL <http://www.general-packer.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 梅森 輝信  
 (氏名) 小関 幸太郎

TEL 0568-23-3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年7月期第3四半期の業績(平成26年8月1日～平成27年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第3四半期	4,128	21.9	366	120.8	368	118.3	238	103.9
26年7月期第3四半期	3,385	7.4	165	—	168	475.9	116	433.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第3四半期	26.80	—
26年7月期第3四半期	13.14	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第3四半期	5,699	—	3,148	—	—	55.2
26年7月期	5,290	—	2,968	—	—	56.1

(参考)自己資本 27年7月期第3四半期 3,148百万円 26年7月期 2,968百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	3.50	—	3.50	7.00
27年7月期	—	4.00	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年7月期の業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	5.1	295	28.6	300	27.8	200	24.8	22.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年7月期3Q	8,994,000 株	26年7月期	8,994,000 株
27年7月期3Q	107,018 株	26年7月期	106,218 株
27年7月期3Q	8,887,011 株	26年7月期3Q	8,887,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費に一部弱さが見られたものの底堅い動きが続き、雇用・所得環境においては改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は海外事業の強化、ソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における売上高につきましては、顧客企業の設備投資需要の増加に伴い、汎用タイプの給袋自動包装機の販売台数が大幅に増加したことから、前年同期に対し742百万円増収の4,128百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費は前年同期より増加したものの、増収に伴い売上総利益が増加した結果、営業利益は366百万円(前年同期比120.8%増)、経常利益は368百万円(前年同期比118.3%増)、四半期純利益は238百万円(前年同期比103.9%増)と前年同期に対し増益となりました。

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであります。単一セグメントを品目別に分類した場合における品目別売上高の概況は次のとおりであります。

給袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は1,900百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

製袋自動包装機は、販売台数が増加したことから、売上高は664百万円(前年同期比56.7%増)となりました。

包装関連機器等は、大型包装ラインの販売実績が減少したことから、売上高は683百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

保守消耗部品その他につきましては、保守案件の実績が増加したことから、売上高は879百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

なお、当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響されることとなり、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は4,707百万円となり、前事業年度末に比べて340百万円増加いたしました。この主たる要因は、売上債権及びファクタリング方式により譲渡した売上債権の未収額の合計額が459百万円減少したものの、現金及び預金が460百万円増加したこと、棚卸資産が205百万円増加したこと等によります。

固定資産につきましては、当第3四半期会計期間末残高は992百万円となり、前事業年度末に比べて68百万円増加いたしました。この主たる要因は、投資その他の資産が53百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ409百万円増加し、5,699百万円となりました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は2,452百万円となり、前事業年度末に比べて225百万円増加いたしました。この主たる要因は、仕入債務が206百万円減少したものの、前受金が310百万円増加したこと、未払法人税等が95百万円増加したこと等によります。

固定負債につきましては、当第3四半期会計期間末残高は98百万円となり、前事業年度末に比べて4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ229百万円増加し、2,551百万円となりました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高につきましては、利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ179百万円増加し、3,148百万円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、顧客企業の設備投資需要が不透明となる中で、国内外における競争は激しさを増してきており、今後の受注環境は厳しい状況となることが予想されます。

このような状況の中で、当社におきましては、海外事業の強化やソリューションビジネスの拡大に取り組み、売上高の確保を目指してまいります。

業績予想につきましては、現在までのところ堅調に推移しているものの、第4四半期会計期間については営業損失及び経常損失を計上する見込であることから、見直しを実施しておりません。

以上により、平成27年7月期通期の業績予想につきましては、平成27年3月3日発表「平成27年7月期第2四半期決算短信[日本基準]（非連結）」の業績予想値から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,086,148	2,546,277
受取手形及び売掛金	1,489,025	860,217
仕掛品	369,212	510,632
原材料及び貯蔵品	263,944	328,125
未収入金	86,260	255,896
その他	71,533	205,874
流動資産合計	4,366,126	4,707,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	481,075	467,026
土地	298,125	298,125
その他(純額)	13,892	19,375
有形固定資産合計	793,093	784,526
無形固定資産	34,635	58,273
投資その他の資産	96,555	149,852
固定資産合計	924,283	992,652
資産合計	5,290,410	5,699,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,641,805	1,434,952
未払法人税等	49,530	145,498
賞与引当金	-	58,816
役員賞与引当金	14,000	-
製品保証引当金	15,023	18,867
その他	506,973	794,631
流動負債合計	2,227,332	2,452,766
固定負債		
退職給付引当金	39,636	38,160
役員退職慰労引当金	54,550	60,550
固定負債合計	94,186	98,710
負債合計	2,321,519	2,551,476

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,577	251,577
資本剰余金	282,269	282,269
利益剰余金	2,442,404	2,613,962
自己株式	△19,848	△20,054
株主資本合計	2,956,401	3,127,754
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,489	20,447
評価・換算差額等合計	12,489	20,447
純資産合計	2,968,891	3,148,201
負債純資産合計	5,290,410	5,699,678

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)
売上高	3,385,978	4,128,909
売上原価	2,518,929	2,942,945
売上総利益	867,049	1,185,963
販売費及び一般管理費	701,200	819,700
営業利益	165,848	366,262
営業外収益		
受取利息	214	255
受取配当金	126	136
設備賃貸料	-	2,400
その他	4,733	3,774
営業外収益合計	5,073	6,567
営業外費用		
支払利息	1,647	1,688
支払補償費	289	2,251
その他	0	0
営業外費用合計	1,937	3,940
経常利益	168,984	368,889
特別利益		
固定資産売却益	190	64
特別利益合計	190	64
特別損失		
固定資産除却損	285	0
特別損失合計	285	0
税引前四半期純利益	168,890	368,953
法人税、住民税及び事業税	55,768	178,023
法人税等調整額	△3,686	△47,282
法人税等合計	52,082	130,740
四半期純利益	116,807	238,213



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、自動包装機械製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。